

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	呼吸発声発語系の構造・機能・病態		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	一年次		学期及び曜時限	前期 水曜1限	教室名	406教室
担 当 教 員	秀島 克巳	実務経験とその関連資格	1982年～2010年6月長崎大学附属病院検査部勤務・2010年7月～島根大学医学部歯科口腔外科学講座 助教 /2013年4月～2018年3月島根県歯科技術専門学校(衛生士科)非常勤講師(口腔外科学)/ 博士(歯学)・臨床 検査技師・臨床工学技士・国際細胞検査士			
《授業科目における学習内容》						
コミュニケーション学と障害学を含み、健康なコミュニケーション過程、その発達と変化、各種障害の病態と障害像、原因とメカニズム、評価法及び訓練・指導法など専門的に学ぶ。呼吸・発声・発語系器官について、その構造及び機能について学び、聴覚障害、音声障害、言語障害を理解し、言語聴覚士に必要な知識を習得する。						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験(100点)で評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
【教科書】「発声発語障害学」 医学書院						
《授業外における学習方法》						
ノートまとめ、教科書を読んで理解する。						
《履修に当たっての留意点》						
積極的な取り組みを望む。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸発声発語学の概論を理解し、説明できる。	教科書		<ul style="list-style-type: none"> ノートまとめ(教科書vii～xiiiまで) 教科書の目次を読んで理解する
		各コマにおける授業予定	呼吸発声発語学概論			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸器系の基本構造・呼吸運動を理解し、説明できる。	教科書		<ul style="list-style-type: none"> ノートまとめ(教科書P11～P13,180～P182まで) 教科書P11～P13,180～P182を読んで理解する
		各コマにおける授業予定	呼吸器系の基本構造・呼吸運動			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸機能検査を理解し、説明できる。	教科書		<ul style="list-style-type: none"> ノートまとめ(教科書P11,P180～P182まで) 教科書P11,P～P13,P180～P182を読んで理解する
		各コマにおける授業予定	呼吸機能検査			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸器系の病態を理解し、説明できる。	教科書		<ul style="list-style-type: none"> ノートまとめ(教科書P18～P31まで) 教科書P18～P31を読んで理解する
		各コマにおける授業予定	呼吸器系の病態			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	喉頭の基本構造・機能を理解し、説明できる。	教科書		<ul style="list-style-type: none"> ノートまとめ(教科書P2～P10,P203～P204まで) 教科書教科書P2～P10,P203～P204を読んで理解する
		各コマにおける授業予定	喉頭の基本構造・機能			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	喉頭の病態を理解し、説明できる。	教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートまとめ(教科書P21～P25まで) ・教科書P21～P25を読んで理解する
		各コマにおける授業予定	喉頭の病態		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	喉頭の検査を理解し、説明できる。	教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートまとめ(教科書P3,13,20～P23) ・教科書P3,13,20～P23を読んで理解する
		各コマにおける授業予定	喉頭の検査		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	構音器官の基本構造を理解し、説明できる。	教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートまとめ(教科書P102,103,P186～P189) ・教科書P102,103,P186～P189を読んで理解する
		各コマにおける授業予定	構音器官の基本構造		